令和７年度

学 校 図 書 館 全 体 計 画

西小松川小学校

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

学 校 教 育 目 標

考える子
やりぬく子
明るい子

タブレットの活用が進み調べ学習等で学校図書館が利用される機会が減っている。

学 校 図 書 館 の 目 標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ね　ら　い

① 読書活動を推進し、豊かな人間性を培う。
② 子供の読書活動を支援し、読書の喜びや楽しさを味わわせることを通じて言語感覚を磨く。
③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び課題解決を図れるような情報活用能力を育てる。

指 導 の 重 点

① 教育課程に位置付けた学校図書館の利用や授業の実施を推進する。
② 読書のみならず、資料・情報センターとしての機能の充実を図る。
③ 司書教諭・教職員・保護者との連携を密にし、理解や協力を得て図書館教育の推進を図る。

各 学 年 の 重 点 目 標

第一・二学年	・学校図書館に親しみ、利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができる。 ・優しい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしようという態度を育てる。
第三・四学年	・進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。 ・目的に応じて、色々な読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。
第五・六学年	・積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。 ・目的に応じて、複数の本や文章から適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。

具　体　的　な　取　組

〔 各 教 科 〕

○ 各教科の目標を達成する中で、課題解決学習等の学習の場・総合的な学習の場としての学校図書館の意義を踏まえ、積極的・計画的に図書館学習を取り入れる。
○ 教科学習の中での図書館学習を通して、情報や知識を検索・収集・処理する能力を養い、基礎的な技術を養うとともに自ら学ぶ力を育成する。

〔 読 書 科 〕

○ 朝読書等を通じて読書に親しみ、読書の習慣化を図る。
○ 「アニマシオン」「ブックトーク」「読み聞かせ」等による読書の推進、意欲の向上を図る。

〔 特別の教科 道 徳 〕

○ 様々な資料を通して、自分の考えと違う考え方を尊重したり、自主的に判断したりする力を育てる。

〔 特 別 活 動 〕

○ 学級活動を通し、学校図書館の利用や情報の適切な活用を身につける。
○ 読書月間を１０月に行い、目的に応じた読書方法や主体的な読書の態度を身につける。

〔 総 合 的 な 学 習 の 時 間 〕

○課題の探求・解決に資料を活用し、多様な方法で取り組むことで、情報活用能力を伸ばす。
○課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめなどの場面で資料を活用し、学ぶ力を育てる。

〔 家 庭・地 域 と の 連 携 〕

○ 学級への呼びかけや、「本となかよし」等を通じて家庭における読書の習慣化を図る。
○ 読み聞かせ・整備ボランティアの連携と活用を図る。

朝　読　の　推　進

推進組織の確立・充実

図書環境の整備・充実